

## 事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード		電話	042-769-8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	在宅サービスグループ
事務事業名	緊急通報システム運営事業			
予算上の事務事業名	緊急通報システム運営事業			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前年度
施策名	第1施策	地域ケアサービスの充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市ひとり暮らし高齢者等緊急通報サービス事業実施要綱、相模原市ひとり暮らし高齢者等電話訪問サービス事業実施要綱、相模原市ひとり暮らし高齢者等電話貸与事業実施要綱
--

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

あり
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、 ・在宅中の急病や災害等の緊急時に、迅速かつ適切に対応するサービスを提供する(緊急通報) ・電話による安否確認等を行うサービスを提供する(電話訪問) ・加入電話の貸与及び電話料等の助成を行うサービスを提供する(電話貸与)	60歳以上のひとり暮らしと高齢者のみの世帯等	
	対象数	単位
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	サービスの利用決定：保健福祉総合相談課 (緊急通報) ・登録者数 1,100人 ・受益者負担 月400円程度 ・通報件数 194件 (正報 96件 誤報 98件) (電話訪問) ・登録者数 143人 (電話貸与) ・登録者数 155人 ・受益者負担 通話料1,000円を超えた分	
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	相模原市高齢者保健福祉計画	緊急通報サービス、電話訪問サービス、電話貸与サービス
計画年次	15年度～	19年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	対前年比登録者数の伸び率(電話貸与)	前年を100とした場合の当該年度の割合(%)	利用者の伸び率を見ることによって需要の高さが分かる	13	14	15	16	17
				119	122	108	108	108
活動指標	対前年比電話料の伸び率(電話貸与)	前年を100とした場合の当該年度の割合(%)	利用者の電話利用を見ることによって需要の高さが分かる	159	119	104	103	103

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	9,970	10,159	12,039	11,767	12,000
	人員・時間数	(50時間)	(50時間)	(50時間)	(50時間)	(50時間)
	人件費	199	199	199	199	199
	その他経費					
	合計	10,169	10,358	12,238	11,966	12,199
特定財源						
対象数(--)						
単位あたり経費(円)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	ひとり暮らし高齢者等の増加に伴い、利用申し込みが増える傾向にある
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	ひとり暮らし高齢者の増加に伴い、緊急時の対応や孤独感の解消等が図られる
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	緊急時などの対応というサービスは、ひとり暮らし高齢者の安心して生活できる在宅での見守り対策に寄与している
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	緊急通報装置の貸与は個人負担であり、設置工事についても特殊なものを除いて無料でNTTが行っている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	ひとり暮らし高齢者で、常時注意を要する状態の方を対象としている。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
介護予防など他のサービスを合わせて提供することにより、健康で安心して暮らせる生活の支援を図る。		1 電話訪問の事業委託先について、利用者の状況も把握し相談やサービス調整も行える在宅介護支援センターへの委託も検討する必要がある。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		各市も同様に緊急通報用の装置を貸与し、利用料は本人負担で事業を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	高齢者の在宅での見守りや安全を確保する観点から事業は必要と考えており、経費についても民間を利用して今後も安価で良質なサービスの提供を図る。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--